

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

本学における小児特発性ネフローゼ症候群の急性期におけるアルブミン製剤と利尿薬の投与の有用性
<b>1．研究の対象および研究対象期間</b> 2015年1月1日から2023年12月31日に昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院の小児科に特発性ネフローゼ症候群で入院した患者さん
<b>2．研究目的・方法</b> 小児の特発性ネフローゼ症候群（おしっこから蛋白が出て、血液の中の蛋白が少なくなり浮腫んでしまう症候群）において、アルブミン（Alb）製剤や利尿薬の使用について施設間で対応が異なります。本研究の目的は、特発性ネフローゼ症候群を診断した初日にAlb製剤と利尿剤を用いて水分管理した場合とそれ以外の場合の経過の違いをあきらかにすることが目的です。方法として、特発性ネフローゼ症候群で入院した方の尿量や血液検査における腎臓の機能を含め、カルテの情報から収集します。
<b>3．研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029年3月31日まで
<b>4．研究に用いる試料・情報の種類</b> 患者背景（年齢、性別、身長、体重、尿量、診断病名、出生歴、既往歴、家族歴、現病歴、併用薬、治療歴）および臨床検査項目（血液、生化学、尿検査、X線、超音波検査、心電図検査、培養検査、病理検査）
<b>5．外部への試料・情報の提供</b> 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学病院および昭和大学江東豊洲病院 小児科（提供元）から昭和大学医学部小児科学講座（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

**6 . 研究組織**

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院こどもセンター 渡邊 佳孝

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院こどもセンター 氏名：渡邊 佳孝

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7473